

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	教育史				
担当者氏名	中村 哲也				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

西洋教育史については、歴史的背景を踏まえ代表的な思想家の思想と実践を取り上げ概観し、教育思想の現代的意義について理解し探求する力を養う。日本教育史については、前近代ー現代の教育について学校と社会の関係を中心に理解する。戦後教育史は、現代社会の発展と学校教育との関係、中央教育審議会答申などの分析、学習指導要領の変遷、子ども観の変化などを理解し歴史的に考察する。

《授業の到達目標》

本科目は、現代社会に生きる学校教員としての必要な資質・能力を習得することを目標とし、以下の点についての能力を養う。社会と教育との相互関係を世界及び日本の教育史を概観することによって、教育を歴史的側面から考え、課題解決の力を養う。また、現在の教育課題を歴史的な視点から考察する力を養う。

《成績評価の方法》

平常点20% 確認テスト 20%
 授業内提出物60%

《テキスト》

『よくわかる！教育エクササイズ ①教育原理』島田和幸・高宮正貴編著 ミネルヴァ書房2018年

《参考図書》

授業において適宜指示する。

《授業時間外学習》

講義に関連した図書や文献を読むことのほか、現代社会のさまざまな分野の動向に関心を持ち、それについて自分の意見や思いを、友人などに伝えられるようにする。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校教員の経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	教育史を学ぶ意義を仲間とともに考える。
2	古代ギリシアの教育	古代ギリシアの哲学と教育思想を学ぶ。とくに、古代の人類の英知を歴史的に概観し、現代社会のあり方との関連を考える。
3	市民革命期の教育思想	コメニウス、ロック、ルソーなど教育思想を市民革命の歴史的必然性ととも学び、現代的意義を学ぶ。
4	産業革命と社会・教育	産業革命がもたらした社会的な変化と庶民教育の広がりやリテラシーの必要性の高まりを考える。
5	近代教育制度の確立	宗教改革、市民革命、そして産業革命が近代の学校教育制度の整備と確立を求めた。その過程で生じた公教育制度の光と影を学ぶ。
6	現代社会と公教育、子ども・青年	高度に発達した産業・情報化社会は、公教育の思想や内容に大きな影響をもたらしている。そこで、子ども・青年は何を学び、どう生きるかを考える。
7	日本の前近代の教育	江戸時代の庶民の識字率の高さはなぜ可能になったのか。藩校、学問塾、手習塾などの実態を学び、近代以降の学校の普及との関係を考える。
8	明治維新と学校教育制度	明治維新は近代日本の公教育制度をどのように展望したのか。その予測と実態を見ながら、公教育制度を確立する過程を分析する。
9	近代公教育制度の内容と方法	「教育ニ関スル勅語」の発布、国定教科書制度、就学率の向上などがもたらす近代学校制度と国民の人格形成との関係を考える。
10	大正デモクラシーから国家総動員体制へ	大正デモクラシーと新教育・新学校運動の動向と、戦時国家総動員体制下の国民学校令教育体制の実態を学ぶ。
11	戦後日本の社会と教育改革	敗戦によって新しく生まれた日本国憲法、教育基本法などの改革原理を学び、その今日的意義を考える。
12	新教育の展開と批判	アメリカの進歩主義教育の影響と日本での実践の展開を学び、その批判的な展開から生まれた生活綴り方教育や学力問題論争が提起した課題を考える。
13	高度経済成長と学校教育制度の拡充	日本の高度経済成長政策は「戦後」に終止符を打ったかにみえる。そのために学校教育制度の改変と拡充、進学競争の激化、学力格差などが生起して今日に続いている。
14	公教育の実態と変質	子ども・青年にとって学校や学習は自由で楽しいものか。先進諸国に共通する不登校、学力格差、いじめなど、その歪みと教育の本質を通じて学校のあり方を考える。
15	21世紀の教育改革	臨時教育審議会答申は、21世紀の教育改革をどのように構想したのか。それから30年余、その検討を通じて新たな教育改革原理を考える。